

## 臨床研究に関する公開情報

国立病院機構西新潟中央病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法等についてお知りになりたい方や、この研究のためにご自分のデータが使用されることをお望みでない方は、下記「問い合わせ先」に連絡をお願いします。なお、個人情報や、研究の知的財産等、お問い合わせ内容によっては、お答えできない場合もありますのでご了承下さい。

### 記

#### [研究課題名]

多施設共同てんかん病変検索プロジェクト  
(Multi-centre Epilepsy Lesion Detection (MELD) Project)

#### [研究責任者]

臨床研究部生理学研究室長、脳神経外科医長、視床下部過誤腫センター長 白水洋史

#### [研究の目的]

てんかんの中には、脳に特殊な病変があり、これが原因となって生じるものがあります。このタイプのてんかんは、通常の抗てんかん発作薬が効きにくい薬剤抵抗性てんかんとなることがしばしばあります。このようなてんかんの場合、病変やその周辺を外科的手術により治療することでてんかんが治ることがあります。しかし、てんかんの原因となる病変はわかりにくいことが多く、診断が難しいことも少なくありません。近年 AI の進歩があり、画像診断にも応用されつつあります。AI の診断能力の向上のためには、たくさんのデータが必要となります。この研究（プロジェクト）は、イギリスのロンドンカレッジ大学が発案した計画で、てんかんの原因となった病変の画像データを、各国からたくさん集めることにより、より正確な診断能をもつ AI を開発しようとしているものです。

当院は、視床下部過誤腫という非常に珍しいてんかんの原因となる病変に対して、世界的に見てもとてもたくさんの症例を治療してきた施設です。これらのたくさんのデータがプロジェクトにとって非常に役に立つ可能性が高く、プロジェクトへの参加が要請され、これを承諾し参加することとしました。

#### [研究の方法]

##### ●対象となる患者さん

視床下部過誤腫に対して手術を行った患者さん（少なくとも手術後1年以上経過した患者さん）

##### ●研究期間

院長承認後、少なくとも3年間

##### ●利用する検体やカルテ情報

手術前後の MRI 画像と、臨床情報（疾患名、年齢、性別、てんかんの発作症状など）

##### ●検体や情報の管理

MRI 画像や臨床情報は、匿名化（個人名を削除すること）され、イギリスのケンブリッジデータセンターにインターネット上で送られます。そこで15年間保存される予定となっています。

#### [研究組織]

この研究は、多施設との共同研究で行われます。研究で得られた情報は、共同研究機関内で利用されることがあります。

[個人情報の取扱い]

情報には個人情報が含まれますが、データ登録をする際に、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報が削除された状態で登録されます。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人が直ちに判別できるようなことはありません。情報は、当院の研究責任者及びプロジェクトリーダーであるロンドンカレッジ大学担当者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

国立病院機構西新潟中央病院

所属：臨床研究部生理学研究室、脳神経外科

職名：生理学研究室長、脳神経外科医長、視床下部過誤腫センター長

氏名：白水洋史

電話： 025-265-3171（代表）